

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(平山小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校運営協議会として、学校教育への協力・支援の具体的な方策を熟議していく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、理解を深めることができた。また、各委員が積極的に意見交換を行い、充実した熟議をすることができた。
- 学校、保護者、地域のそれぞれの願いをもとに共通理解が図られ、学校、特に子供たちを中心に据えた教育活動に基づく学校運営につながられた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校からの支援要望を共有し、グループ討議において話し合いを進めることができた。また、いじめの防止等に関する取組についての内容では、いじめ対策委員会の状況が把握でき、学校で認め合う場をもうけ、やさしい子への導きができていると感じた。
- 各々の立場で、各々の形での支援活動につながる実践的で具体的な内容での熟議ができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校だよりやブログなどで十分な情報発信ができていると感じ、地域の方々とも学校の話で話すことができた。
- 学校だより等で十分な情報発信がされることで地域へと伝わっている。温かい応援の声が聞かれた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 高齢化する地域、子供の減少など様々な問題があるが、お互い寄り添い合える支援・運営を考えていけたらと思う。
- 学校支援活動の一環として、ボランティアの掘り起こしに協議会も協力できていけたらと思う。
- 小規模のよさを生かした学校づくり(メリット、デメリットを踏まえて)のための支援や協力の在り方を探っていきたい。